

桃山学院大学 教員免許状更新講習一覧（平成29年度実施）

受講番号	講習の名称・取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者	受講料	受講人数
A1	【必修】教育の最新事情	本講習では、「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)」 「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項を中心に講義を行う。また、様々な場面で活躍する講師を招き、教員としての資質・能力の向上を目的とする。	・梶田 勲一（教育顧問） ・鎌田 首治朗（ブール学院大学教育学部教育学科教授） ・川口 厚（経済学部経済学科講師） ・冷水 啓子（社会学部社会学科教授）	6時間	12月16日（土）	全教諭	6,000円	150人
B1	【選択必修】 考え、議論する道徳授業をつくる 《道徳教育》	現行の学習指導要領では、道徳の教科化に伴い「考え、議論する」道徳授業が求められている。本講習では、道徳の教科化の意図を明らかにした上で、「考え、議論する」とはどういうことかを考える。そして、「考え、議論する」道徳授業を作るためにはどうするべきかを、グループ・ワークを通して考察を深める。	伊藤 潔志 （経営学部経営学科准教授）	6時間	12月26日（火）	小学校 中学校	6,000円	100人
B2	【選択必修】 教育相談 《教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）》	教育相談の歴史と意義を整理し教育相談体制の構築のあり方と教育相談の進め方について理解を深める。次に、事例を取り上げ、具体的な支援のあり方について考察する。また本講習ではグループワークを導入することにより、実践面についても理解を深めたいと考えている。	川口 厚 （経済学部講師）	6時間	12月26日（火）	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	6,000円	50人
C1	【選択】 障がいのある児童、生徒への 野外行事支援について	学校教育において、林間学校、臨海学校など野外教育の手法を用いた学校行事は重要な取り組みである。様々な障がいがある児童、生徒がスムーズにこれら行事に参加・活動できるように教員として、事前の準備、実際のプログラムをどう組むかなど、配慮した活動を学ぶ。	石田 易司 （社会学部社会福祉学科教授）	6時間	12月9日（土）	全教諭 養護教諭	6,000円	30人
C2	【選択】 創造的な英語のアクティブ・ラーニング	この講習では、英語のアクティブ・ラーニングについて学びます。特に次の三つのテーマに焦点を当てます： (1) 外国語における創造力 (2) 効率的なテクノロジーの利用 (3) 実際の洋楽や洋画を利用した教材作成と使用 実用的な活動を中心として参加型の講習として英語も英語教育も両方学習できる機会とします。	DECKER, Warren （共通教育機構 講師）	6時間	12月9日（土）	小・中・高等学校 英語科教諭	6,000円	30人
C3	【選択】 データをゼロから作って アクティブラーニングに活かそう	アクティブラーニングの中に「調べ学習」があるかと思います。この学習には「データ」をどこから集めたらいいのかを含んでみましょう。でも、調べてもデータが見つからなければどうすればいい？「作ればいい」これが答えになります。この講義では、アクティブラーニングの中で重要な位置を占めるデータの扱い方について「なければ作る」という姿勢を持ってもらおうと思います。今回はデータを作成する素材として「歌詞」を取り上げ、歌詞からデータを作成し、それに基づいて作詞家になり切ってもらおうと思います。	中村 勝之 （経済学部経済学科教授）	6時間	12月17日（日）	小・中・高等学校 教諭	6,000円	30人
C4	【選択】 国際理解教育	国際連合における「平和」と「国際協調」の理念を教育の面において担保するものとして、「国際理解教育」は専門機関としてのユネスコをはじめとして、世界の各地で戦後の長きにわたり実践されてきた。ただ、そのあり方については、時と場所、さらにそれを担う主体によって、多様な展開を見せてきたと言える。本講座においては、そうした多様な局面を見せる国際理解教育に関して、その本質的な理念から説き起こしつつ、ESD、SDGsといった新しい動きを考慮しながら考えてゆきたい。	岡崎 裕 （和歌山大学教育学部教職大学院教授） 米田 伸次 （帝塚山学院大学国際理解研究所顧問）	6時間	12月24日（日）	小・中・高等学校 教諭	6,000円	50人
C5	【選択】 博学連携を考える	現代が生涯学習社会と呼ばれるようになって久しい。しかし生涯学習施設としての博物館と学校の連携は決してうまくいっているとは言えない。その理由の一つには学校側が博物館をうまく利用し切れていない現状がある。そこで本講習では博物館についての基本的な事柄を、更にもっと博物館教育について講義をし、学校教育の考え方のズレを認識し、受講者の興味関心に基づいて「博学連携」の具体的な取り組みを考察する場としたい。	井上 敏 （経営学部経営学科准教授）	6時間	12月27日（水）	小・中・高等学校 教諭	6,000円	50人